

不法投棄のない平戸市へ

不法投棄とは、ごみ(廃棄物)を定められた集積所(ごみステーションなど)以外の山・海・川・道路・空き地・私有地などに捨てることです。また、空き缶やたばこの吸い殻などのポイ捨てや、集積所に回収できないもの(洗濯機や廃タイヤなど)を捨てても不法投棄になります。

もし不法投棄してしまった場合は、法律で5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金が科せられます。

不法投棄が問題となるのは、不法投棄された廃棄物が環境や地域の景観を損なうだけでなく、新たに悪臭や土壌汚染などの公害問題を引き起こし、周囲の皆さんの健康や日常生活にも悪影響



を及ぼすからです。また、原状回復するにも多額の費用がかかる場合があります。平戸市では、長崎県などの関係機関と協力し、パトロールや啓発看板の設置などに取り組んでいます。全てに対処するのは困難です。ふるさとを守るためにも、一人ひとりが適正なごみの分別処理に努め、不法投棄のない平戸市にしていきたいです。

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

健康長寿のひけつ

特別編

このたび、平戸市長寿報奨金を受けられた102歳の健康な高齢者と、2人で202歳の平戸市最高齢夫婦の、長生きのひけつや現在の暮らしを紹介します。

問 長寿介護課高齢者支援班 ☎22・9133

毎日の楽しみは畑仕事

「在宅で元気に暮らす102歳」



たむら 田村 スミエ さん(津吉町・102歳)

津吉町で暮らす田村スミエさんは、11月25日に102歳の誕生日を迎え、黒田市から2回目の長寿報奨金が授与されました。

若いころから畑仕事に励み、現在も自宅近くの畑で野菜を作っています。11月に転んでからは外出を控えています。「早く畑仕事に出たい」と前向きに話されました。

息子さん夫婦に見守られながら、今でも身の回りのことは自分で行っています。

長寿のひけつは特に意識していないとのことですが、畑に出て体を動かし、3食きちんと食べることが健康長寿につながっているようです。

夫婦合わせて202歳
「83年を共に歩むおしどり夫婦」



やまもと のぼる 山本 登 さん(堤町・102歳)・ミス さん(100歳)

堤町で暮らす、大正11年生まれで102歳の山本登さんと、大正13年生まれで11月11日に100歳を迎えたミスさん夫婦は、「夫婦合わせて202歳」となりました。

2人は夫婦で漁業を営み、ミスさんが自宅裏の畑で野菜を作り家計を支えました。

いつも2人を見守っている息子さん夫婦をはじめ、50人以上の子どもや孫、ひ孫、玄孫に恵まれ、穏やかに過ごしています。

ミスさんの長寿祝いの席では、登さんが優しい表情で「おめでとう」と伝えるなど、おしどり夫婦の温かなやりとりを見せてくださいました。

平戸市長寿報奨金

100歳を超えてなお、介護サービスを受けることなく在宅で健康に暮らす高齢者へ、その誕生日ごとに表彰し、報奨金を支給します。

春節が世界文化遺産に登録されました！



▲我が家の除夜の年夜饭

中国伝統の新年の祝祭「春節」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。その理由の1つとして、「家族の価値や社会の結束を高め、中国の人々にアイデンティティーの感覚を与える」と評価されています。

春節は旧暦の正月初日(チンイ)あたり、その前夜は「除夜」と呼ばれます。新年を迎えるため家族と一緒に食べる除夜の食事「年夜饭」は、家族団らんを象徴する食事です。他にも春節には、ランタン



国際交流員 張 芸 (チョウ・ゲイ) (中国出身)

を鑑賞したり、庙会(寺院などでの縁日)を訪れたり、先祖を祀るなど、さまざまな伝統的な習慣があります。

海外で暮らす華人にとって、春節は重要な祝祭であり、伝統的な方法で春節を祝うことで、文化的アイデンティティーを強く感じます。

私は昨年、長崎ランタンフェスティバルを訪れました。ランタンがとても綺麗に飾られて、龍踊りや獅子舞などの伝統的な春節の催しがあることに驚きました。日本人の観光客も多く、まるで中国文化と日本文化が融合したような祭りでした。

中国本土とは異なる雰囲気包まれ、とても特別な体験ができました。

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143